

キャラクター名

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	医者
	モルフェウス					
オプション			年齢	29	性別	男
覚醒	生誕	衝動	嫌悪		初期侵食率	32 %
出自	兄弟	経験	長期入院		邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	1	0			2	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	4	0	0			4	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
優しい奇跡	P	N		
桜井雨月	P 慈愛	N 不安		
赤瀬川聡士	P 友情	N 憤懣		
兼守惟々	P 庇護	N 嫌悪		
白冬蘭	P 親近感	N 不信感		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1							
効果:								
オリジン:ミネラル	5							
効果:								
砂の結界	1							
効果:								
砂の盾	3							
効果:								
砂の鎧	5							
効果:								
捧げる生命	1							
効果:								
テイクオーバー	3	2	オート	至近	単体	自動	RB	
効果: 侵蝕肩代わり/1シナリオLv回								
スティルネス	5		メジャー	視界	単体	15	RB	
効果: 対象の侵蝕率-[Lv+2]/自身の侵蝕率+[このエフェクトで減少した侵蝕率*2]/1シナリオ1回								
ディヴィジョン	3	1d10	オート	視界	単体	自動	D	
効果: 対象へのHPダメージが算出された直後使用/HPダメージ2分の1(端数切捨て)にする/軽減したダメージと同じだ(HPを失う/1シナリオLv回								
万能器具	★							
効果:								
無上厨師	★							
効果:								
効果:								
効果:								

「学生のたまり場みたいな支部だな」
直近ではH市UGNIに所属していた医師兼エージェント。
一時期研究者としてアールラボに在籍経験もあり(研究員としての研修期間のみの在籍であり、その後B支部へと移籍した)、専門は賢者の石。
今回PC1の中に生成された賢者の石の研究の為、N市支部へ赴任した。
B支部では後述(※)の事件があり、その際に桜井水月は死亡している。……現在は彼が今際の際に残した、砂の盾が意思を持ったレネゲイドビーイングとして存在している。
生まれた頃から(これは生前の水月の事だが、このレネゲイドビーイングも同じ力を所有している)強力な"優しい奇跡"持ちの彼は、幼少のころは意図せずその力が常時発動しており、他人の痛みで入院を繰り返していた。
そのせいか他者との関わりを極力避けている節があり、口の悪さも自身の心を守るための防衛本能から来ている。
勿論この共感からくる痛みは、弟である雨月も例外ではなかったのだが、
入院を繰り返す彼に優しく寄り添い、「大きくなったら、お兄ちゃんの病気を治すお医者さんになるね」と約束してくれた弟の言葉に心を打たれ、弟を守るといふ意思の元一緒にいるようになる。
誰彼構わず口が悪く人当たりが最悪な彼だが、一方で他者の心を読み取ることに長けた彼は愚直で素直な人間や、他者に優しい人間にはごくたまに思いやりを見せることもある。
なんだかんだ言って彼は優しい人間なのである。
そんな彼だが、赴任してからは弟と同じくN市公立高校の養護教諭として保健室にいる。また、まだ子供である支部長を氣遣ってかたまに支部に来ては書類仕事等を手伝うことも。

-----シナリオ1後
「マスタークラスに挑むのに戦闘員が5人とか正気か? ……医療班は整えた。俺もエージェントとしてそっちの仕事するからな」
誰もか、学生支部ということで事件の対応について甘い評価をしているが、彼は認めなかった。
たかだか一介のFHエージェント、しかもセルから離反し単独犯の起こした事件の被害者は支部のみならず、非オーヴァードにも及んだからだ。